自動車用盗難警報装置

守護神 SS−250

取付け・取扱い説明書
保証書

この度は、自動車用盗難警報装置　守護神（SS−250）をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠注意

本製品は、車体への衝撃や電圧変化を感知し警告を行う装置です。車上ねらい、車輌盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車輌に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車輌盗難、車上ねらい、車輌へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目　次

COMTEC

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠警告

警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

⚠注意

注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠警告

●本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
●運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
●本製品は、運転や視界の妨げにならず、車輌の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。又、エンジンルーム内への取付け・配線等も車輌の機構（ファン・ベルト等）や、熱の影響の無い場所へ取付けてください。事故や怪我の原因となります。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車輌故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
●本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠注意

●本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・両面テープ等の消耗品は、保証の対象になりません）
●万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
●保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●指定の電池以外は使用しないでください。
●イグニッションキーを抜いた状態で、ステアリングのホーンボタンを操作し、ホーン（クラクション）が鳴らないお車は、ホーン警告機能が使用できません。
●本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
●本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
●本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
●本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輌盗難、車上狙い、車輌へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。

●備考　「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

おもな特長

●衝撃＆電圧のダブルセンサー
雨や風による揺れには反応せず、衝撃にのみ反応する新型振動センサーと、ドアオープン（ルームランプ点灯）等の電圧変化に反応する新開発の電圧センサーのダブルで監視。
※一部車種で、電圧センサーが正常に作動しない場合があります。カーテシ配線を行ってください。

●高輝度LEDによる監視機能＆警告機能
本製品が車輌監視状態の時、12個の高輝度LEDが点滅（6パターン）し不審者を威嚇します。
又、衝撃・電圧変化を感知すると高輝度LEDがフラッシュ点滅し、警告を行います。

●リモコンドアロック連動方式
SS-250のリモコンでドアロック・アンロックが行え、連動して守護神のスタート・ストップも行えます。
※一部車種で、取付けが行なえない場合があります。

●ダブル警告機能
車体衝撃の強弱によって 2 段階の警告を行います。

●日本語・英語・電子音での警告が行なえるスピーカー
スピーカーからの警告音を、日本語・英語・電子音の中から設定できます。又、ボーリューム調整機能で、音量の調整も可能です。

●盗難保険・1年間無償加入 （詳細はP30「盗難保険について」を参照）
本製品ご購入日から1年間有効の盗難保険に加入しています。（最高保証額￥100,000)
※保険対象品　・タイヤ・ホイール・カーナビゲーションシステム・カーテレビ・カーオーディオ
・レーダー探知機・エンジンスターター

●履歴機能
停車中の車輌に異常が起きた時、警報の内容を確認できる履歴機能を搭載。

●環境誤動作防止回路
車輌への微振動を常にサンプリングし、車輌への衝撃による振動との違いを確実に判断する新回路を搭載し、従来以上に風・雨等による誤動作を減少します。

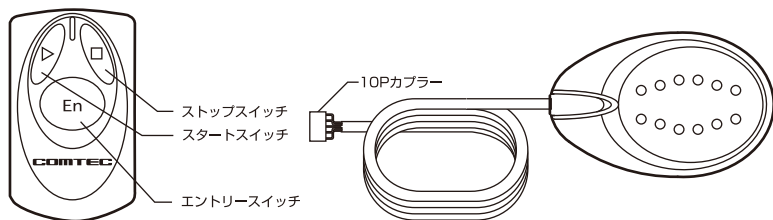
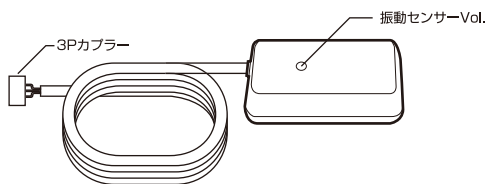
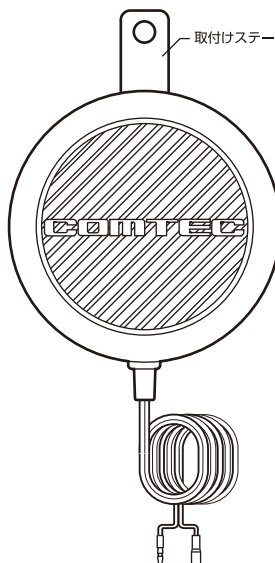
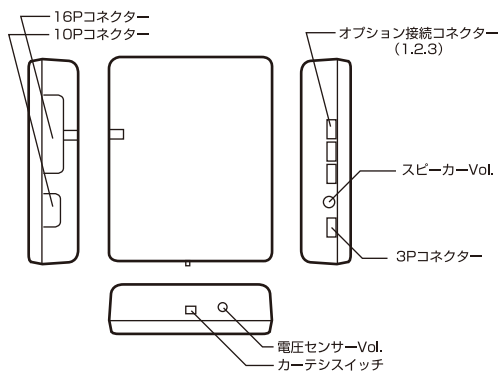
●エンジンスターター＆ターボタイマー取付車対応
エンジンスターター＆ターボタイマーの作動中は、振動・電圧変化（カーテシセンサー）の警告は行いません。

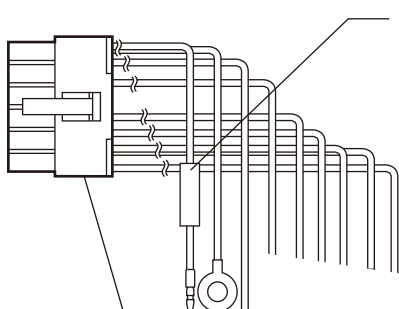
●省電力モード（バッテリー保護）
8日間以上連続して監視状態の場合、バッテリー保護の為、高輝度LEDが消費電力最小の点滅に変ります。

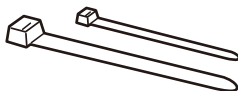
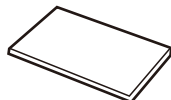
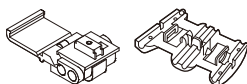
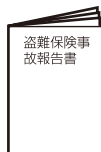
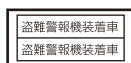
●豊富なオプションで、車にあわせてシステムアップが可能

・カーテシ配線（複数線）	一部車種で電圧センサーが働かない場合、カーテシスイッチ（ドアスイッチ）の信号を検出し、ドアオープン時の警報を行います。 ※一部車種で、取付けが行なえない場合があります。
・拡張振動センサー2	RV・ミニバン等車体の大きな車で車輌後部の振動検出ができない車に最適です。 センサーが振動を感知すると、重度・軽度を識別して警報をおこないます。
・トランクセンサー2	トランクの開閉を感知し、重度警報を行います。ハッチバック車への取付も可能です。
・ジャッキアップセンサー	車輌の傾きを感知し、重度警報を行います。
・マイクロウエーブセンサー	センサー有効範囲内に動く物（移動物体）を感知した場合、軽度警報を行います。
・ホーンリレー	重度衝撃・電圧変化を感知した場合、車輌のホーンを鳴らし警告を行う事が可能です。 ※一部車種で、取付けが行なえない場合があります。
・アンサーフラッシュリレー	ドアロック/アンロック時、又は警報時にハザード点滅させます。
・セルカットイモビライザーユニット	ドアロック機能と連動して車輌のセル始動を制御します。

各部の名称（商品セット内容）

※（　）内はセット数量

注：取扱説明書内イラストと実際の商品は一部形状が異なる場合があります。

各部の名称（商品セット内容）

カプラー番号（配線側より）

16	14	12	10	8	6	4	2
15	13	11	9	7	5	3	1

◆16Pハーネス（1）

◆盗難保険事故報告書（1）

◆ステッカー（1シート）
※・2枚セットで1シートです。
・車両の窓ガラス等に貼ってください。

◆コードクランプ（2）

◆調整用ドライバー（1）

◆インシュロック
（大×2　小×4）

◆平型ヒューズ付きコード
（大×1　小×1）

◆両面テープ（2）

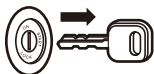
◆延長線
・ドアポジション延長線（桃×1）
・ドアロック延長線（緑×1）
・ドアアンロック延長線（紫×1）
・カーテシ入力延長線（黄×1）

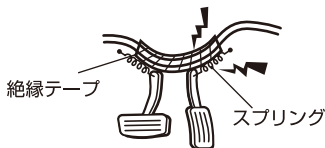
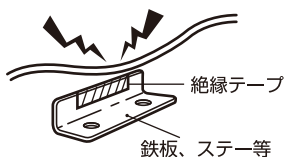
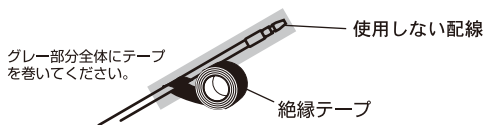
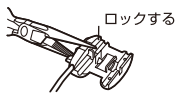
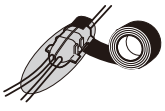
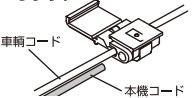
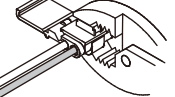
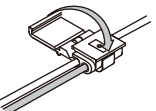
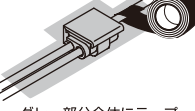
◆エレクトロタップ
（赤×6　青×1）

◆インシュロックベース（2）

◆取付け・接続時の注意

●シフトレバーをパーキング P にし、パーキングブレーキを確実にかけます。

●エンジンを停止させ、キーを抜きます。

●配線について

※配線等を収納する際、車の金属部（ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄等）にコード類が接触する場合は、その部分に必ず絶縁テープ等を貼って保護してください。

※使用しない配線は絶縁テープを巻き他の配線や車輌ボディーアースに接触しないようにします。

●取付けに必要な工具　※その他の工具が必要になる場合があります。

・サーキットテスター　・ドライバー　・カッターナイフ
・プライヤー　・スパナ又はボックスレンチ　・絶縁テープ

●エレクトロタップの使用方法

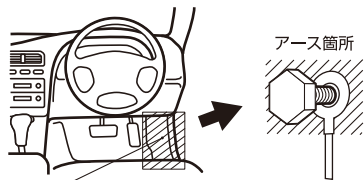
注意　エレクトロタップで接続後、安全の為に必ず絶縁テープを巻いてください。
　　　青タップ、赤タップの使用方法が異なります。

青タップの使用方法 1.タップを図のように見ます。 ストッパー ストッパー付きコード溝 ストッパー無しコード溝	2.ストッパー付きコード溝に本機のコードを挟みプライヤー等でロックします。 ロックする	3.ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みプライヤー等でロックします。 ロックする	4.絶縁テープを巻きます。 グレー部分全体にテープを巻いてください。
赤タップの使用方法 1.コードを差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。 車輌コード 本機コード	2.プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。	3.カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。	4.絶縁テープを巻きます。 グレー部分全体にテープを巻いてください。

◆配線概要図

接続
振動センサーユニット
メインユニット
接続
接続
フラッシャーユニット
ホーン電源出力線（青）※オプション
ボディーアース線（黒）
ボディーアースへ接続（P8）
平型ヒューズ付きコード
常時電源線（赤）
ヒューズへ接続（P13）
（車内　常時12V）
※ Be-968アンサーフラッシュリレー（オプション）
16Pハーネスの7番に付属線を入れます。
（設定はP19・21）
※車輌側の配線についてはBe-968取扱説明書を参照してください。
※ SS-057ホーンリレー（オプション）
16Pハーネスの5番に付属線を入れます。
（設定はP19）
※車輌側の配線についてはSS-057取扱説明書を参照してください。
BeTime信号線（茶）
BeTimeエンジンスタータへ接続(P9)
対応機種のみ配線
カーテシ入力線（黄）
車輌カーテシ線へ（任意配線 P12）
アクセサリー検出線（水色）
車輌アクセサリー電源線へ（P9）
ドアロック線（緑）
車輌ドアロック線へ（任意配線 P10・11）
ドアアンロック線（紫）
車輌ドアアンロック線へ（任意配線 P10・11）
ドアポジション線（桃）
車輌ドアポジション線へ（任意配線 P10・11）
スピーカー出力線2（橙）
スピーカーユニット
接続（P8）
スピーカー出力線１（白）
アンテナ線（灰）
車内の見える位置へ配線

◆取付け手順1　（ボディーアース配線）

16Pハーネス・アース線（黒）を、塗装されていないボディまたはフレームのビス等へ確実に共締めします。

⚠ 注意

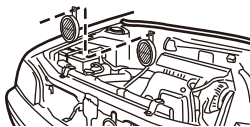
・バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。
・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

◆取付け手順2　（スピーカーユニット取付け／接続）

スピーカーユニットはエンジンルーム／室内のどちらにも取付ける事ができます。

⚠ 注意　・スピーカーユニットの取付、配線を行う際、車輌の機構部（ファン・ファンベルト・アクセルペダル・ブレーキペダル等）や高温となる場所（エンジン・ラジエター・エアコン吹き出し口付近等）への配線は避けてください。

1.スピーカーユニットの取付け（エンジンルーム）

・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、雨等の水が直接当たらない箇所へ確実に取付けます。
・車輌のネジ等を利用して確実に取付けてください。
・エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開けスピーカーユニットの配線を室内側へ配線してください。

（取付け例）エンジンルーム内

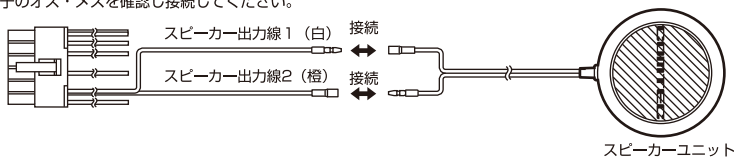
2.スピーカーユニットの取付け（室内）

・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、運転に支障の無い箇所へ確実に取付けます。
・車輌のネジ等を利用して確実に取付けてください。
※気密性、防音性の高い車輌の場合、室内に取付けると警告音が聞こえにくくなる場合があります。

（取付け例）運転席下部

3.スピーカーユニットの接続

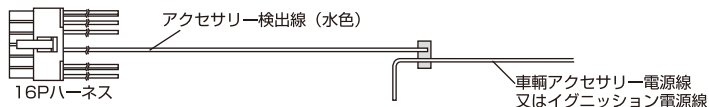
・16Pハーネス・スピーカー出力線1（白）・スピーカー出力線2（橙）をそれぞれスピーカーユニットと接続します。
※各端子のオス・メスを確認し接続してください。

スピーカー出力線１（白）　接続
スピーカー出力線2（橙）　接続
スピーカーユニット

◆取付け手順3　（アクセサリー検出配線・BeTime信号配線）

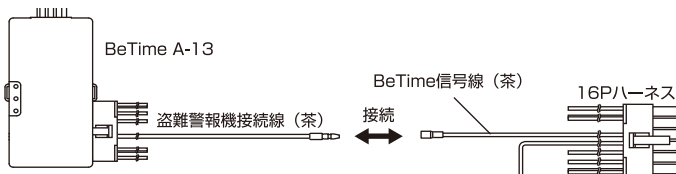
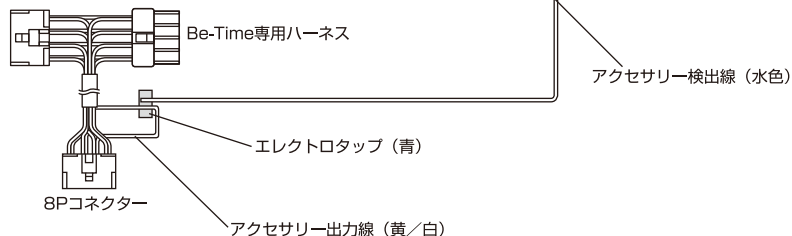
●お取付けの車種によって下記 a、b の2通りの配線方法があります。

・本製品作動中にリモコ ンを紛失・破損した時等、車輌のイグニッションキーをACCの位置にすると警報のみ（警報中でも）停止します。※イグニッションキーをOFFにすると本製品がキャンセルタイマー作動後スタートします。
注.イグニッションキーをACCの位置にするまでは、車輌のドアを開けたり、車輌に振動を加えると警報が鳴ります。
・エンジンスターター/ターボタイマーお取付けの車種はエンジンスターター/ターボタイマー作動中本製品が作動中でも警報のみ停止します。
※エンジンスターター/ターボタイマー停止後、本製品がキャンセルタイマー作動後スタートします。

a
・エンジンスターター／ターボタイマーを取付けていない車輌の場合。
・エンジンスターター「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線（茶色）の無い機種を取付けている場合。
・他社メーカーのエンジンスターター／ターボタイマーを取付けている場合。

・16Pハーネス・アクセサリー検出線（水色）を車輌のアクセサリー電源線にエレクトロタップで接続します。

・他社メーカーのエンジンスターター/ターボタイマーでアクセサリーを始動しない物があります。その場合は車輌側イグニッション電源線に配線をしてください。
・アクセサリー電源がない車輌はイグニッション電源線に配線してください。

b
・弊社製品のエンジンスターター／ターボタイマー「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線（茶）のある機種を取付けている場合。 ※詳しくは、各商品の説明書を参照してください。

※A-13の場合
・本体リレーボックスから出ている（A-13は付属の接続端子線を16Pコネクターに差します）盗難警報機接続線（茶）に守護神16PハーネスのBeTime信号線（茶）を接続します。

◆取付け手順4　任意配線（ドアロック・アンロック配線）

●本製品のリモコンにて車輌のドアロック／ドアアンロックと連動して守護神のスタート／ストップを行います。

（注）下記の様な車種はドアロック・アンロック制御を行えません。
・ドアロック専用スイッチ(集中ドアロックスイッチ)で全てのドアロックを制御（ロック／アンロック）できない車種。
又は、純正リモコンドアロック（ディーラーオプションは不可）が装備されていない車種。
・ドアロック・ドアアンロック制御を多重通信で行っている車種。
・輸入車。（外車、逆輸入車）
・スマートキー装着車

●配線の前に
自動車メーカー、車種によってドアロック・アンロック配線の方法が異なります。また、本製品以外に別売のBeTime／守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターを必要とする車種があります。

Aタイプ・・・・・本製品だけで配線が可能。

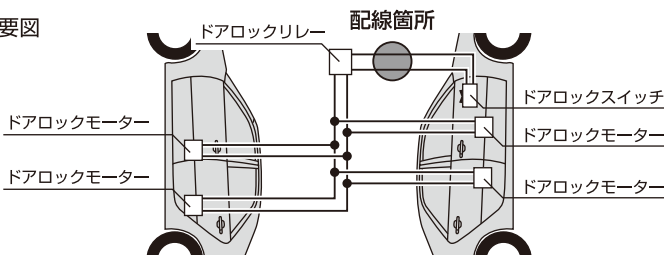
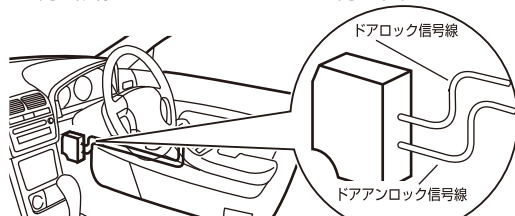
適応車種・・・・ドアロック専用スイッチ、もしくは純正リモコンドアロック（キーレスエントリー）で全てのドアロックを制御（ロック／アンロック）でき、通常時12v・ドアロック／アンロック時0vになり動作後12vに戻るタイプ。

Bタイプ・・・・・本製品以外に別売のBeTime／守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターが必要。
※配線方法はBeTime／守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターを参照してください。

適応車種・・・・ドアロック専用スイッチで全てのドアロックを制御（ロック／アンロック）でき、通常時0v・ドアロック／アンロック時12vになり、動作後0vに戻るタイプ。

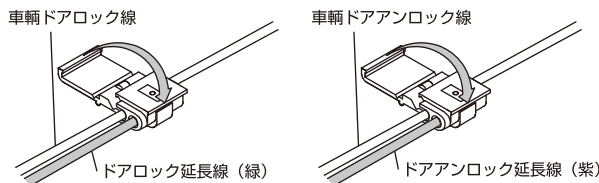
※詳しくは車種別専用ハーネス適合表を参照してください。

Aタイプの配線方法

1. 配線概要図

2. 車輌ドアロック・ドアアンロック線を探します。ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックスイッチまわりから探し出します。

※場所は車種によって異なります。

ドアロック線(通常12v)
ドアロック動作時→0v 動作後→12v

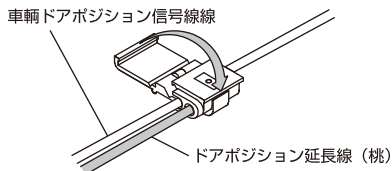
ドアアンロック線(通常12v)
ドアアンロック動作時→0v 動作後→12v

3. ドアロック（緑）・ドアアンロック延長線（紫）を項目 2. で探したドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップ（赤）で接続します。

※確認（必ず行ってください）

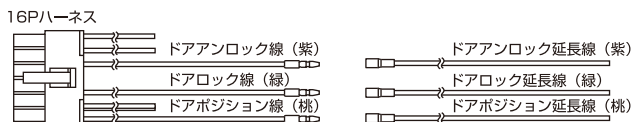
エレクトロタップで接続後、延長線をボディーアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

4. 項目 3. の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。（トヨタ車のみ）
ドアアンロックが作動する場合は、項目 6. へ進んでください。

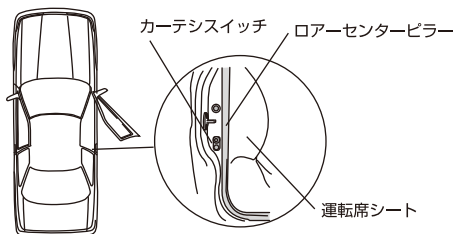
ドアロックノブを操作してロック時に12v、アンロック時に0vになる線を探します。

5. 項目 4. で探したドアポジション信号線にドアポジション延長線（桃）をエレクトロタップ（赤）で接続します。

※確認（必ず行ってください）

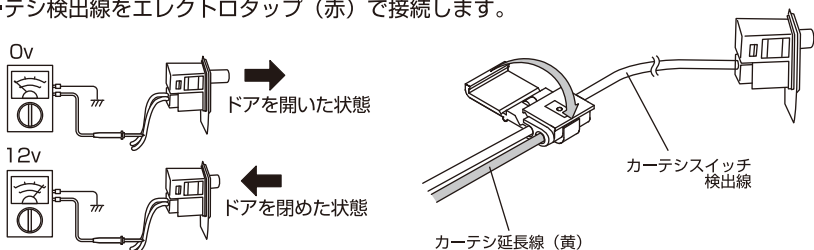
エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線をボディーアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

6. 16Pハーネス・ドアロック線（緑）、ドアアンロック線（紫）をそれぞれの延長線と接続します。
※ドアポジション延長線を接続している場合は、同様に16Pハーネスと接続します。

◆取付け手順5　任意配線（カーテシ配線）

※・本製品を取付けて、電圧センサーによる警報が出力されない（ドアオープン時に警報されない）場合に配線を行ってください。
・付属のカーテシ延長線は、カーテシ配線を1箇所で取れる車種専用になります。複数のドアに対してそれぞれ独立したカーテシ配線を行う必要のある車種は別売のカーテシ配線（複数線）「SS-051」をご使用ください。
・一部車種でカーテシ配線ができない車輌があります。（多重通信車など）
・カーテシスイッチ以外にも配線ができる車輌もあります。（キー照明、半ドア警告灯など）

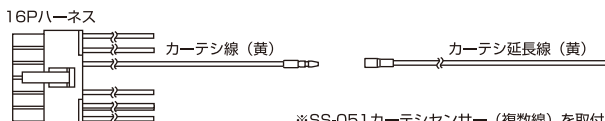
1. 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。

2. 車輌側カーテシ検出線をテスター等で探し,カーテシ入力延長線（黄）と車輌側カーテシ検出線をエレクトロタップ（赤）で接続します。

カーテシスイッチ
検出線

カーテシ延長線（黄）

3. 16Pハーネス・カーテシ入力線（黄）を延長線と接続します。

16Pハーネス

カーテシ線（黄）

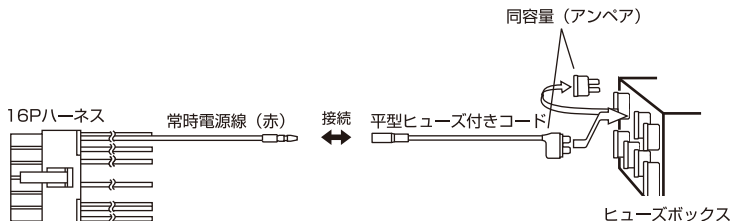
カーテシ延長線（黄）

※SS-051カーテシセンサー（複数線）を取付けの場合は
16Pハーネスの4番にSS-051を差してください

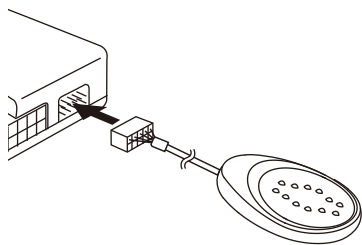
4. メインユニット・カーテシスイッチを2（配線時）に切替えます。

※カーテシ配線を行っていない時は、カーテシスイッチを1（通常時）にします。

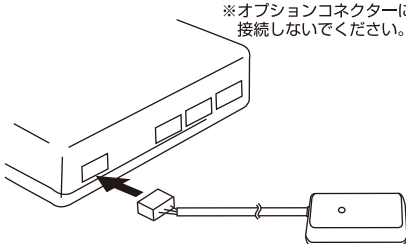
◆取付け手順6　（常時電源配線）

●付属の平型ヒューズ付きコードは、大小の2種類あります。車輌のヒューズサイズに合わせてご使用ください。

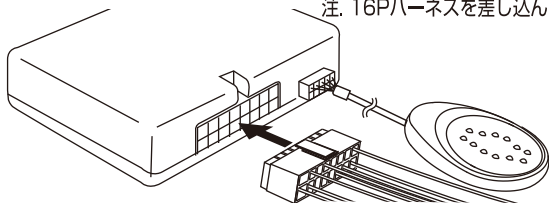
・16Pハーネス・常時電源線（赤）に平型ヒューズ付きコードを接続し、車輌の常時電源がとれるヒューズと差し換えます。
※・必ず同じ容量（アンペア）のヒューズと差し換えてください。
　・車輌に同じ容量（アンペア）のヒューズが無い場合は、市販されている同じ容量のヒューズ付きコード等をご使用ください。

◆取付け手順7　（フラッシャーユニットの接続）

・メインユニットの10Pコネクターへフラッシャーユニットの10Pカプラーを接続します。

◆取付け手順8　（振動センサーユニットの接続）

・メインユニットの3Pコネクターへ振動センサーユニットの3Pカプラーを接続します。

※オプションコネクターに接続しないでください。

◆取付け手順9　（16Pハーネスの接続）

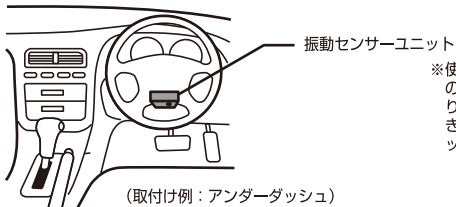
・メインユニットの16Pコネクターへ16Pハーネスを接続します。
・16Pハーネスを接続するとフラッシャーユニットが2回点滅し、スピーカーユニットから3秒間電子音が鳴ります。
※フラッシャーユニットの点滅、スピーカーユニットの警報が行われない場合は、再度接続を確認してください。

注. 16Pハーネスを差し込んだ時、警報が鳴ります。

◆取付け手順10　（振動センサーユニットの取付け）

●振動センサーユニット内に振動センサーが内蔵されています。車輌への衝撃を平均的に検出するため、必ず車内の振動が伝わる固定されている場所へ確実に取付けてください。

・両面テープを適当なサイズにカットし、振動センサーユニットを樹脂、金属等の面へ水平になるように固定します。

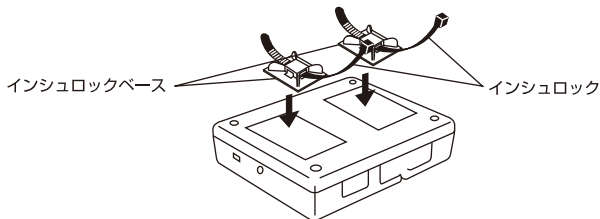
⚠注意
・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
・振動センサーVol.が手もと側（操作できる側）になるよう取付けてください。
・取付け、配線等はエアバック等車輌の機構部に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。
・カーペット等の柔らかい面へ取付けると、正確な振動検出が行えない場合があります。

（取付け例：アンダーダッシュ）

※使用状況などにより振動センサーユニットのボリュームの調整が必要になる場合がありますので必ず簡単にボリュームが調整できるように見える場所に振動センサーユニットを取り付けてください。

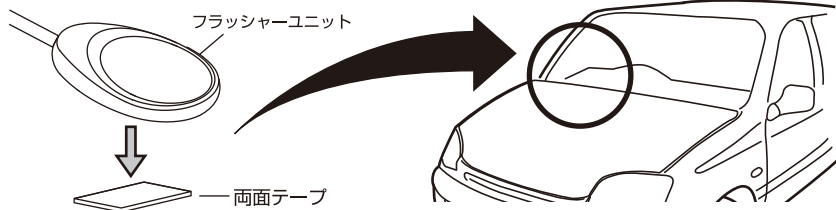
◆取付け手順11　（メインユニットの取付け）

P16～P23の機能設定が終了してから取付けを行ってください。

・メインユニットに付属のインシュロックベースを貼り、インシュロックを使用して車内の目立たない位置へ取付けます。

⚠注意
・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
・スピーカーVol.が操作しやすい位置に取付けてください。
・取付け、配線は車輌の機構部（アクセルペダル、ブレーキペダル等）に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。

◆取付け手順12　（フラッシャーユニットの取付け）

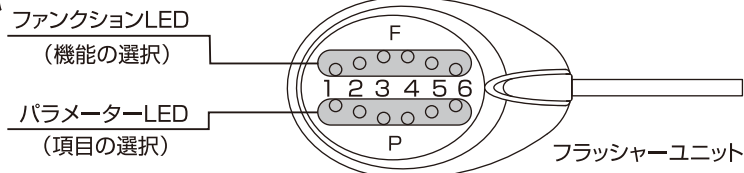
・フラッシャーユニットとアンテナベースを下図の様に取付け、付属の両面テープで車輌のダッシュボード上にLED部が外から見える様に取付けます。
※運転や視界の妨げにならず、車輌の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。

（取付け例：ダッシュボード運転席側）

機能設定

◆設定方法　※リモコンでの設定

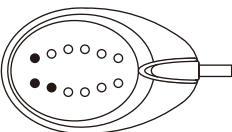
●本製品は下記機能を任意に設定することができます。
●設定はリモコンで行います。

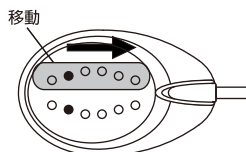
1（P17）	センサー設定	4（P20）	スピーカー警報設定
2（P18）	フラッシャーユニット表示設定	5（P21）	キャンセルタイマー設定
3（P19）	ホーン警報設定（オプション）	6（P21）	スタート／ストップ音設定

●名称

●設定方法 ※約15秒以上リモコンからの入力がない状態がつづくと機能設定は自動終了します。

1.本製品が停止している状態で、リモコンのスタート／ストップスイッチを同時に押します。

スタート／ストップ
スイッチを同時に押す

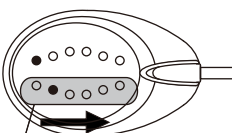
2.ファンクションLEDが点灯し対応する項目のパラメータLEDの現設定が点灯します。

3.スタート／ストップスイッチを同時押しする毎にファンクションLED点灯箇所が移動します。
設定する機能にあわせます。（点灯）

スタート／ストップ
スイッチを同時に押す

ファンクションLED点灯が移動

4.リモコンのスタートスイッチを押すとパラメータLEDが点灯から点滅に変ります。

スタートスイッチを押す

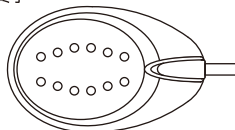
5.スタートスイッチを押す毎に点滅が移動します。設定する項目にあわせます。（点滅）
※機能1・3・4・6の設定方法は一部異なります。
詳しくはP18・20・21・22を参照してください。

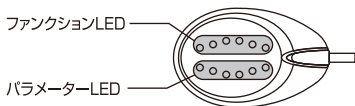
移動

パラメータLEDが移動

6.続けて他の機能を設定する時は、再度3へ。

7.ファンクションLEDが消える迄、スタート／ストップスイッチの同時押しを繰り返すか、約15秒以上リモコンから入力を行わないと設定は終了します。

スタート／ストップスイッチの同時押しを繰り返す。又は、15秒以上リモコンからの入力を行わない。

LEDが全て消灯し終了

機能設定

◆機能設定表

▼ 印は、出荷時の初期設定

	NO.	項目／機能	パラメーターLED						
			123456 ○○○○○○	123456 ●○○○○○	123456 ○●○○○○	123456 ○○●○○○	123456 ○○○●○○	123456 ○○○○●○	123456 ○○○○○●
ファンクションLED	1	●○○○○○ センサー設定 （P17参照）	（▶）スイッチで設定 全センサーOFF	振動センサー 標準装備	電圧センサー カーテシセンサー 標準装備	拡張振動 センサー2 オプション	ジャッキアップ センサー トランクセンサー オプション	マイクロウエーブ センサー オプション	／
		（■）スイッチで設定		▶（点灯）ON （消灯）OFF	▶（点灯）ON （消灯）OFF	（点灯）ON ▶（消灯）OFF	（点灯）ON ▶（消灯）OFF	（点灯）ON ▶（消灯）OFF	
	2	○●○○○○ フラッシャー設定 （P18参照）	（▶）スイッチで設定 表示無し	▼ 点滅	ループ	スルー	セパレート	交差ループ	スローループ
	3	○○●○○○ ホーン警告 ハザード設定 オプション （P19参照）	（▶）スイッチで設定 ▼ OFF	15秒間に 5回警報	30秒間に 10回警報	60秒間に 20回警報	（■）スイッチで設定 ハザード点滅機能（オプション） ▼ なし	あり	／
	4	○○○●○○ スピーカー警告設定 （P20参照）	スピーカー警告 OFF	（▶）スイッチで設定 軽度警報設定 ▼ 電子音	日本語	英語	（■）スイッチで設定 重度警報設定 ▼ 電子音	日本語 ＋ 電子音	英語 ＋ 電子音
	5	○○○○●○ キャンセルタイマー （P21参照）	（▶）スイッチで設定 OFF 0秒	▼ 20秒	40秒	60秒	2分	5分	15分
	6	○○○○○● スタート／ストップ音 ハザード設定 オプション （P21参照）	（▶）スイッチで設定 スタート/ストップ音 OFF	▼ 電子音	日本語 ＋ 電子音	英語 ＋ 電子音	（■）スイッチで設定 ハザード点滅機能（オプション） ▼ なし	あり	／

◆センサー設定

●本製品には車輌への衝撃と電圧変化を検出する2つのセンサーが内蔵されており、また、複数のオプションセンサーの取付けも可能です。使用環境等にあわせて各センサーのON/OFFを設定します。
●下記表を参照して設定を行ってください。

●設定方法

(1)・スタート（▶）／ストップスイッチ（■）の同時押しでファンクションLED1にあわせます。（点灯）

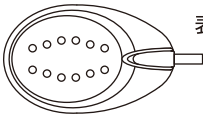
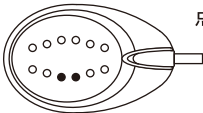
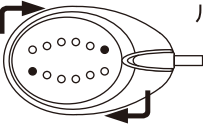
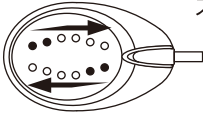
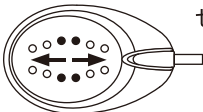
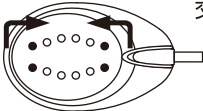
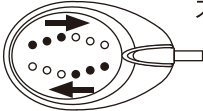
(2)・スタートスイッチ（▶）を押すとパラメーターLEDが点滅します。
・スタートスイッチを押す毎に点滅箇所が移動します。
・設定したい項目（パラメーターLED）にあわせます。（点滅）
(3)・ストップスイッチ（■）を押す毎にパラメーターLEDがON（点灯）／OFF（消灯）します。
・ストップスイッチ（■）を押し選択した項目（パラメーターLED）を設定します。

(4)・他の項目を設定する場合、（2）を再度行います。

● 点灯　○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
●○○○○○ 1 2 3 4 5 6	各センサー（オプション含む）のON/OFFを設定します。 ※オプションの設定は、オプション取付け時のみ有効。

項目	パラメーターLED		項目内容
A	1 2 3 4 5 6 ○○○○○○	全てのセンサーがOFF	
B	1 2 3 4 5 6 ●○○○○○	複数の設定可能	振動センサー（標準機能）初期はON
C	1 2 3 4 5 6 ○●○○○○		電圧センサー（標準機能） カーテシセンサー（配線時）　初期はON
D	1 2 3 4 5 6 ○○●○○○		オプションコネクター1 振動センサー2（オプション）初期はOFF
E	1 2 3 4 5 6 ○○○●○○		オプションコネクター2：ジャッキアップセンサー（オプション） 16ピンコネクター：トランクセンサー（オプション） 初期はOFF
F	1 2 3 4 5 6 ○○○○●○		オプションコネクター3 マイクロウエーブセンサー（オプション）初期はOFF

※ジャッキアップセンサー（オプション）とトランクセンサー（オプション）項目Eの設定で同時にON・OFFします。

◆フラッシャーユニット表示設定

●下記表を参照して設定を行ってください。
※省電力モード（P24）時は、項目Bの点滅パターンになります。

● 点灯　○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
○●○○○○ 1 2 3 4 5 6	・本製品が作動中であることを周囲に知らせ、不審者へ心理的な威圧感を与えることのできる6通りの点灯パターンがあります。

項目	パラメーターLED	項目内容
A	1 2 3 4 5 6 ○○○○○○	表示しない LEDは点灯しません。
B	1 2 3 4 5 6 ●○○○○○	点滅 2個のLEDが点滅します。 ※省電力モード時も点滅表示となります、
C	1 2 3 4 5 6 ○●○○○○	ループ 2個のLEDが回転点灯します。
D	1 2 3 4 5 6 ○○●○○○	スルー LED点灯が2個移動します。
E	1 2 3 4 5 6 ○○○●○○	セパレート LEDが中央から順次点灯後、中央から順次消灯します。
F	1 2 3 4 5 6 ○○○○●○	交差ループ 2個ずつのLEDが逆回転に点灯し交差します。
G	1 2 3 4 5 6 ○○○○○●	スローループ 右回りにLEDが1個づつ点灯して1個づつ消灯します。

◆ホーン警告設定（オプション）・ハザード設定（オプション）

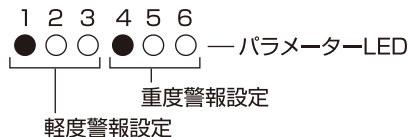
●下記表を参照して設定を行ってください。

● 点灯　○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
○○●○○○ 1 2 3 4 5 6	・振動センサーの重度警報・電圧センサー・カーテシセンサーが感知しホーンで警告を行う時の鳴り方を設定します。

パラメーターLED	項目内容
ホーン設定　（オプション）	**（▶）スタートスイッチで設定**
1 2 3 4 5 6 ○○○○○○	ホーン警告OFF
1 2 3 4 5 6 ●○○○○○	15秒間に5回警報を鳴らします
1 2 3 4 5 6 ○●○○○○	30秒間に10回警報を鳴らします
1 2 3 4 5 6 ○○●○○○	60秒間に20回警報を鳴らします
ハザード設定　（オプション）	**（■）ストップスイッチで設定**
1 2 3 4 5 6 ○○○●○○	設定 OFF
1 2 3 4 5 6 ○○○○●○	設定 ON ホーン設定と同じタイミングで（ホーンが鳴っている時）点滅させます ※ホーン設定OFFの場合は15秒間に5回点滅させます

◆スピーカー警告設定

●スピーカー警告には、軽度警報・重度警報（P24）の2種類があり、それぞれOFF、電子音、日本語、英語、から選択できます。
●下記表を参照して設定を行ってください。
●設定方法

(1)・スタート／ストップスイッチの同時押しでファンクションLED4を選択します。（点灯）

(2) 軽度警報設定方法
・リモコンの（▶）スタートスイッチを押す毎に点滅がパラメーターLED1～3の間を移動します。
・設定する所にLEDをあわせます。（点滅）

(3) 重度警報設定方法
・リモコンの（■）ストップスイッチを押す毎に点滅がパラメーターLED4～6の間を移動します。
・設定する所にLEDにあわせます。（点滅）

● 点灯　○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
○○○●○○ 1 2 3 4 5 6	・振動センサーが衝撃を感知しスピーカーで警告を行う時の鳴り方を設定します。

	パラメーターLED		項目内容
	1 2 3 4 5 6 ●○○●○○		・1～3 の全てが消灯（軽度警報OFF） ・4～6 の全てが消灯（重度警報OFF）
▶スタートスイッチで設定	1 2 3 4 5 6 ●○○○○○	軽度警報（1つ選択）	電子音にて1秒警告
	1 2 3 4 5 6 ○●○○○○		日本語にて警告 「注意してください。セキュリティシステムが作動しています。」
	1 2 3 4 5 6 ○○●○○○		英語にて警告 「Attention. This car is equipped an alarm system.」
■ストップスイッチで設定	1 2 3 4 5 6 ○○○●○○	重度警報（1つ選択）	電子音（間欠音）にて30秒警告
	1 2 3 4 5 6 ○○○○●○		日本語にて警告後、電子音で約20秒警告 「警告します。ただちに車両から離れてください。」
	1 2 3 4 5 6 ○○○○○●		英語にて警告後、電子音で約20秒警告 「Get away soon. A warning start now.」

◆キャンセルタイマー設定

●下記表を参照して設定を行ってください。

● 点灯　○ 消灯　※キャンセルタイマーを使用すると・・・エンジン停止後、電装品が動作しても設定時間以内であれば警報を行いません。

ファンクションLED	機能内容
○○○○●○ 1 2 3 4 5 6	・本製品をリモコンでスタート後、各センサーが防犯監視状態になるまでの時間を設定します。 ・キャンセルタイマー作動中はフラッシャーLEDは全て点滅します。

パラメーターLED	項目内容
1 2 3 4 5 6 ○○○○○○	機能OFF　(0秒)
1 2 3 4 5 6 ●○○○○○	20秒
1 2 3 4 5 6 ○●○○○○	40秒
1 2 3 4 5 6 ○○●○○○	60秒
1 2 3 4 5 6 ○○○●○○	2分
1 2 3 4 5 6 ○○○○●○	5分
1 2 3 4 5 6 ○○○○○●	15分

※本製品作動中にスターターなどでアクセサリーが一度ONになりその後アクセサリーがOFFになるとキャンセルタイマーの設定がOFFでも20秒のキャンセルタイマーが作動します。(アクセサリー検出配線を配線時)

◆スタート／ストップ音設定・ハザード機能設定（オプション）

●下記表を参照して設定を行ってください。

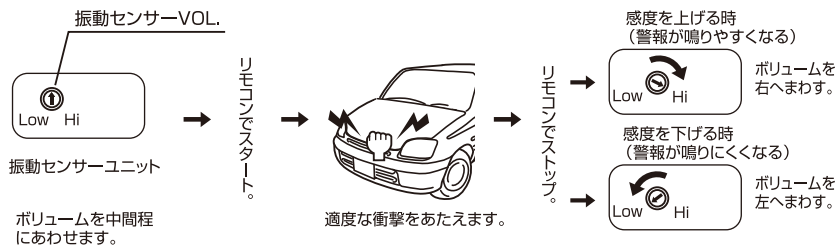
● 点灯　○ 消灯

ファンクションLED	機能内容
○○○○○● 1 2 3 4 5 6	・本製品をリモコンでスタート／ストップ時、スピーカー又は、ハザードにてお知らせします。

パラメーターLED	項目内容	
スタート/ストップ音	**(▶)ストップスイッチで設定**	
1 2 3 4 5 6 ○○○○○○	スタート／ストップお知らせOFF	
1 2 3 4 5 6 ●○○○○○	電子音にてお知らせ	スタート時:「ポッ」 ストップ時:「ポッポッ」
1 2 3 4 5 6 ○●○○○○	日本語にてお知らせ	スタート時:「注意してください。　ポッ」 ストップ時:「注意してください。　ポッポッ」
1 2 3 4 5 6 ○○●○○○	英語にてお知らせ	スタート時:「Attention.　ポッ」 ストップ時:「Attention.　ポッポッ」
ハザード設定※オプション	**(■)ストップスイッチで設定**	
1 2 3 4 5 6 ○○○●○○	設定 OFF	
1 2 3 4 5 6 ○○○○●○	設定 ON	スタート/ロック時　1回点滅 ストップ/アンロック時　2回点滅

◆振動センサーVOL.設定

●車輌への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。

1.振動センサーVOL.を付属のドライバーで中間の位置にあわせます。
2.車輌エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
3.本製品をリモコンでスタートします。(P26)
4.キャンセルタイマー作動時(設定時のみ)、フラッシャーユニットが全点滅します。
※スタート後、キャンセルタイマー作動時(設定時)は警報を行いません。
5.フラッシャーが全点滅から表示が変わった後、車外から車輌に軽く振動をあたえます。
6.適度な衝撃で、警報が行われる様に振動センサーVOL.を調整します。
※感度が弱い場合は振動センサーVOL.を右へ、強い場合は左へ少しずつまわして調整を行ってください。
必ずリモコンで本製品をストップ(P26)してから、振動センサーVOL.の調整を行ってください。

◆スピーカーVOL.設定

●スピーカーの音量調整をメインユニットのスピーカーVOL.で行います。
必ず付属のドライバーを使用して調整を行ってください。

1.スピーカーユニットから行う警告の音量を大きくする場合、スピーカーVOL.を右(Hi)へまわします。
2.スピーカーユニットから行う警告の音量を小さくする場合、スピーカーVOL.を左(Low)へまわします。
3.本製品を作動させ、フラッシャーユニットへ軽く振動をあたえて、音量を確認してください。

音量を大きくする場合
右へまわす。

音量を小さくする場合
左へまわす。

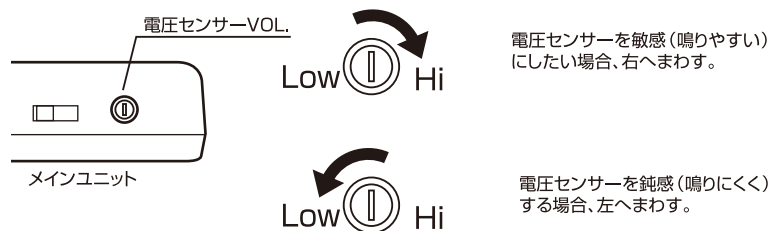
◆電圧センサーVOL.設定

●車輌への電圧変化を検出し、警報を行う為の電圧センサーの感度を設定します。
必ず付属のドライバーを使用して調整を行ってください

※ドアを開けたらルームランプがつくように車輌側を設定します

1.電圧センサーVOLを付属のドライバーで中間の位置にあわせます。
2.機能設定で振動センサーをOFFにします。(P17参照)
3.車輌エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
4.本製品をリモコンでスタートします。(P26参照)
5.キャンセルタイマー作動間(設定時のみ)、フラッシャーユニットが全点滅します。
※スタート後、キャンセルタイマー作動間(設定時)は警報を行いません。
6.フラッシャーが全点滅から表示が変わった後、車外から車輌のドアを開けます。
※ワイヤレスドアロック機能を使用せず車輌のカギで直接開けてください。
7.警報が鳴るように電圧センサーVOLを調整します。振動センサーをONにします。
8.警報が鳴らない場合は電圧センサーVOLを右(Hi)の方へ回して調整してください。
※設定終了後、振動センサーをONにします。

電圧センサーを敏感(鳴りやすい)にしたい場合、右へまわす。

電圧センサーを鈍感(鳴りにくく)する場合、左へまわす。

注.・調整しても電圧センサーが作動しない時はカーテシ配線が必要になります。
・使用中に勝手に電圧変化が作動するなど、電圧センサーが安定作動しない時は、電圧VOLを Low側に調整してください。それでも安定作動しない時はカーテシ配線をしてください。
※カーテシ配線を行った場合は、メインユニットのスイッチ設定が必要になります。(P12参照)

◆警報内容

●本製品には以下の警報があります。

1.振動センサーによる警報

軽度警報　弱い衝撃の時に警報を行います。※スピーカーユニットからの警報となります。
重度警報　強い衝撃の時に警報を行います。

2.電圧センサーによる警報

車輌のドアオープンによるルームランプ点灯等の電圧変化を検出し警告を行います。

3.カーテシセンサーによる警報

車輌のドアオープン信号をカーテシ配線から検出し警告を行います。※配線時

※◇一部車種で電圧センサーによる警報が正常に働かない場合があります。
別売のカーテシ配線をご使用ください。
◇本製品作動中に、下記機能の操作を行うと車輌の電圧変化を検出し警告を行う場合があります。
必ず本製品停止中に操作を行ってください。
・リモコンドアロック／キーレスエントリーシステム
・リモコントランクオープナー／リモコンパワーウィンドー／リモコンドアミラー
・電子制御式集中ドアロック等
◇本製品が作動中に、下記機能が作動すると車輌の電圧変化を検出し警告を行う場合があります。
・クーリングファン（エンジン停止後に作動するタイプ）
・自動室内換気装置（エンジン停止後に作動するタイプ）
・その他、エンジン停止時に自動的に作動する電装品が取付けされている場合（ 純正品も含む）

警報種類	作動条件	警報方法
振動センサー	軽度警報 ・車輌への弱い衝撃を検出した時、警告を行います	スピーカーユニット（P20）
	重度警報 ・車輌への強い衝撃を検出した時、警告を行います	スピーカーユニット（P20） オプション車輌ホーン警報（P19）
電圧センサー カーテシセンサー	ドアオープンによるルームランプ点灯等の電圧変化を検出した時、又はカーテシ配線をする事によりドアが開いた時、警報を行います。	スピーカーユニット （電子音で30秒連続音で警告） オプション車輌ホーン警報（ P19） ※スピーカーユニットの鳴り方の設定変更はできません

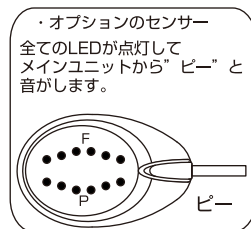
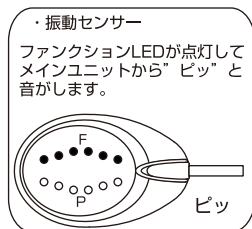
◆履歴機能

1.履歴表示機能（本製品が作動時に反応したセンサーを表示します。）

・本製品の停止状態から再度リモコンのストップ操作を行います。
・履歴表示のある場合、フラッシャーユニットが点滅し、対応する項目が点滅します。

・振動センサー
ファンクションLEDが点灯して
メインユニットから”ピッ”と
音がします。

・電圧センサー
・カーテシセンサー
パラメーターLEDが点灯して
メインユニットから”ピピッ”
と音がします。

・オプションのセンサー
全てのLEDが点灯して
メインユニットから”ピー”と
音がします。

・２つ以上のセンサーの履歴がある場合は　・振動センサー→・電圧センサー/カーテシセンサー→・オプションのセンサー
の順に履歴を表示します。
・本製品をスタートすると履歴がリセットされます。

◆省電力モード機能

2.省電力モード

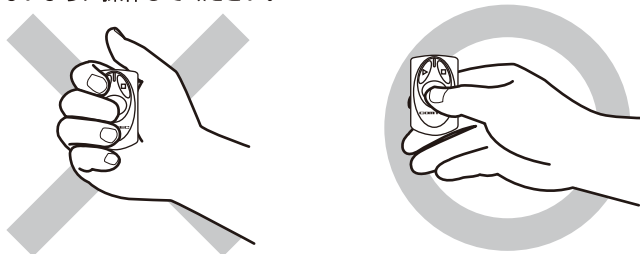
本製品が8日間以上連続で作動し、その間、警報等が一度も発生しない時、バッテリー保護の為にフラッシャーユニットの表示が点滅に変わります。（各センサーは作動しています。）
※リモコンでスタート/衝撃・電圧変化の検出等を行うと省電力モードは解除され、設定の表示に戻ります。

◆リモコンについて

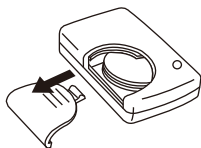
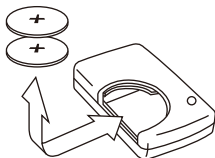
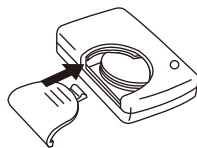
⚠注意
- ●本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- ●リモコンの操作可能距離は、使用条件、環境等により違いがでますが、約4～5mです。
- ●電池寿命の目安は新品の電池で1日2回の使用で約1年間です。

※出荷時は新品の電池をセットしていますが、自然放電や、使用条件等により電池寿命が1年以下の場合があります。
- ●リモコン操作のできる距離が短くなった場合、早めに新しい電池と交換してください。
- ●指定の電池（CR2016）以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- ●Be Timeのリモコンと本リモコンを同時には使用しないでください。誤動作の原因となります。

◆リモコンの操作方法

リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させる為にリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。

◆電池交換について

電池の交換は下図の手順に従い⊕⊖の極性を確認し、行ってください。

1.電池カバーを矢印の方向に従って外します。

2.電池（CR2016）を2枚、矢印に従って交換します。

3.電池カバーを矢印の方向に従って閉めます。

◆リモコンを破損・紛失した場合

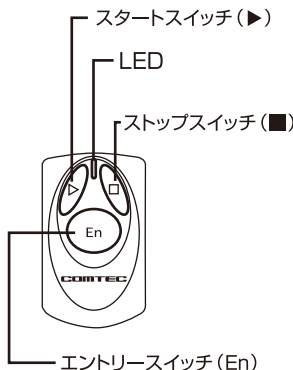
リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能もしくは紛失された場合は新たにリモコンをご購入いただく事になります。
新たにリモコンを購入した場合ID登録が必要になります。（P27参照）

◆リモコン操作のしかた

●本製品の盗難警報機能をスタート／ストップさせます。(ドアロック配線によりドアロック連動も可能)

・守護神スタートだけの場合、車輌のエンジンを停止し、全てのドアを閉じドアロックをしてから操作してください。
・キャンセルタイマー作動間は、警報予備状態となります。(フラッシャーユニット全点滅)
※警報予備状態の時は車輌に衝撃・電圧変化(カーテシセンサー)がおきても警報は行いません。
　エンジンスターター、ターボタイマー作動中は車輌に衝撃・電圧変化(カーテシセンサー)がおきても警報は行いません。

●本製品付属のリモコンで行う場合

※・スタート／ストップ音設定を行っている場合スピーカーが鳴ります。
　・ハザード設定を行っている場合ハザードが点滅します。

リモコン操作一覧	
動作内容	操作方法
守護神スタート +ドアロック(配線時のみ) En → ▶	・リモコンのエントリースイッチを押します。 ・LEDの点滅中に、スタートスイッチを押します。 ・LEDが点灯し、電波が送信されます。
守護神ストップ +アンロック(配線時のみ) En → ■	・リモコンのエントリースイッチを押します。 ・LEDの点滅中に、ストップスイッチを押します。 ・LEDが点灯し、電波が送信されます。
ドアロックのみ (配線時のみ) ▶	・スタートスイッチを押します。 ・LEDが点灯し、電波が送信されます。 ※設定モード時は各種設定の操作になります。 本製品が作動中(スタート中)は作動しません。
ドアアンロックのみ (配線時のみ) ■	・ストップスイッチを押します。 ・LEDが点灯し、電波が送信されます。 ※設定モード時は各種設定の操作になります。 本製品が作動中(スタート中)は作動しません。
設定モード (本製品停止状態) ▶ + ■	・スタートスイッチとストップスイッチを同時に押します。 ・LEDが点灯し、電波が送信されます。

※ドアロック・アンロックのみの作動の場合はスピーカーからは音は鳴りません。
　ハザード機能取付け設定時はハザード機能が作動します。(P21)

●BeTimeリモコンエンジンスターターのリモコンで行う場合(対応機種のみ)

※・スタート／ストップ音設定を行っている場合スピーカーが鳴ります。

◆スタート方法

・リモコンのスタートスイッチを押します。
・LEDが点灯し、電波が送信されます。

◆ストップ方法(警戒作動及、警報のストップ)

・リモコンのストップスイッチを押します。
・LEDが点灯し、電波が送信されます。

※例 A-51
機種によって異なる
場合があります。

ストップスイッチを押します。
LEDが点灯し電波を送信します。

注意　・Be Timeは電波送信出力が10mW又は1mWの為、電波法により付近に同一周波数帯の電波がある時は送信できません。詳しくは、各商品の取扱説明書を参照してください。
　・BeTimeのオートドアロック機能が作動しても本製品は連動で作動しません。

◆リモコンIDコードの再登録（追加リモコンの登録）

●IDコードとは
リモコンはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、本製品を始動させる事ができないようになっております。

●本製品は付属のリモコンとは別に2個のリモコンが追加できます。
（全部で3個までのリモコンが使用できるようになります。）

IDコードの再登録・追加登録をする場合、必ずアクセサリー検出線（水色）の配線が必要になります。（P9）
※配線をしていないとIDの再登録・追加登録はできません。

ターボタイマーを使用しているとイグニッションキー操作ができないので必ずターボタイマーをOFFにしてからイグニッションキー操作をしてください。

●IDコードの登録方法（本製品停止状態から操作してください）

1. イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を7回行います。
※アクセサリー検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回すことになります。

2. メインユニットから”ピリ ピリ ピリ・・・”とブザーが鳴ります。

3. ブザーが鳴っている間に登録するリモコンのスイッチを押す。
・1つ目を登録する時は（▶）スタートボタンを押します。
IDが登録されると”ピッ”とメインユニットからブザーが1回鳴ります。
・2つ目を登録する時は（■）ストップボタンを押します。
IDが登録されると”ピッ ピッ”とメインユニットからブザーが2回鳴ります。
・3つ目を登録する時は（▶）スタートボタンと（■）ストップボタンを同時に押します。
IDが登録されると”ピッ ピッ ピッ”とメインユニットからブザーが3回鳴ります。

4. 上記のようにブザーが鳴れば完了です。
・続けてリモコンを追加する場合は**1.**から操作を行います。

※IDコードの登録作業は10秒以内で行ってください。10秒以上かかるとID登録モードが解除されます。
（再度IDコードを登録する時は始めからIDコードの登録方法をしてください。）
※IDコードは何度でも書き換えができます。（同じ操作で新しいIDコードを書き込むと、前回登録したIDコードは消去されます。）
※車輌のバッテリー交換や本製品の電源を外したり、車輌ノイズなどによりリモコンのIDコードが消失する場合があります。その時はIDの再登録をしてください。

付属のステッカーについて

●付属のステッカーを貼る時は、運転者の視界を妨げるような場所、自動車の前面ガラス及び運転者席、助手席のサイドガラスに貼らないでください。
運転者席より後方サイドガラスなど、運転者の視界を妨げない場所に付属のステッカーを貼ってください。

盗難警報装置装備車
CAR SECURITY SYSTEM
守護神
COMTEC

付属ステッカー

守護神の強制ストップ・スタート

●リモコンを破損・紛失した場合などリモコンで本製品をストップ・スタートできない場合に車輛イグニッションキー操作により本製品をストップ・スタートできます。

注 リモコンの破損・紛失した場合などリモコンが操作できない時にだけ操作を行ってください。
誤動作の原因になります。

必ずアクセサリー検出線（水色）の配線が必要になります。配線をしていないとイグニッションキー操作による守護神のストップ・スタートはできません。（P9）

ターボタイマーを使用しているとイグニッションキー操作ができませんので必ずターボタイマーをOFFにしてからイグニッションキー操作をしてください。

●守護神のストップ（本製品が作動している状態から操作を行います）

1.イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を5回行います。（10秒以内に行ってください）

※アクセサリー検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回す操作になります。

2.上記操作終了後、本製品が停止します。

※上記操作により本製品が停止後連動してアンロック動作を行います。

※何度操作しても停止しない場合は、アクセサリー検出線の配線位置が違うか本体メインユニットの異常が考えられます。

●守護神のスタート（本製品が停止している状態から操作を行います）

1.イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を6回行います。（10秒以内に行ってください）

※アクセサリー検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回す操作になります。

2.上記操作終了後、約10秒後にタイマーキャンセルが作動し本製品が始動します。

※タイマーキャンセル設定がOFFでも20秒は作動します。

※何度操作しても始動しない場合は、アクセサリー検出線の配線位置が違うか本体メインユニットの異常が考えられます。

本製品の修理について

●本製品の破損・点検・故障した場合、購入した販売店又はお近くの販売店へ修理の依頼・ご相談をしてください。

●修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。

●修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輛盗難、車上狙い、車輛へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。

故障かな？と思ったら

●本製品を使用中、正常に作動しない場合、点検・修理をご依頼される前に、下記表を参照してご確認ください。

症　状	確　認	対　策	ページ
リモコンでスタート/ストップしない	・正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	8・13
	・ヒューズが切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	13
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・リモコンの電池を交換してください。	25
フラッシャーユニットが点灯しない	・10Pコネクターが確実に接続されていますか？	・10Pコネクターの接続を確認してください。	13
	・フラッシャーユニット表示設定がOFFになっていませんか？	・フラッシャーユニット表示設定を確認してください。	18
警報が出力しない（スピーカー）	・スピーカーユニットが正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	8
	・スピーカー警告設定がOFFになっていませんか？	・スピーカー警告設定を確認してください。	20
警報が出力しない（電圧変化検出時）カーテシ配線無し時	・電圧センサーは正しく設定されていますか？	・電圧センサーVOL.の設定の確認をしてください。 ・電圧センサーの設定がONになっているか確認してください。	17・21
	・カーテシ検出スイッチが2（配線時）になっていませんか？	・カーテシ検出スイッチを確認してください。	12
	・ルームランプはドアオープンと連動していますか？	・ルームランプをドアオープンと連動させてください。 ※一部車種で、ドアオープン時の電圧変化が作動しない場合があります。その場合、付属のカーテシ配線を行ってください。又、一部車種には、別売のカーテシ配線（複数線）「SS-051」が必要になる場合があります。	12
警報が出力しない（カーテシ配線時）	・カーテシ配線は正しく配線されていますか？	・カーテシ配線を確認してください。	12
	・カーテシ検出スイッチが1（通常時）になっていませんか？	・カーテシ検出スイッチを確認してください。	12・17
	・各ドアのカーテシが独立している車種ではありませんか？	・別売のカーテシ配線（複数線）「SS-051」を使用してください。	12
警報が出力しない（衝撃検出時）	・振動センサーは正しく設定されていますか？	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサーの設定がONになっているか確認してください。 ・振動センサーユニットの取付け位置を確認してください。	14・17 22
警報が出力しない（全ての警報）	・アクセサリー検出線・BeTime信号線は正しく配線されていますか？	・振動センサーユニットのコネクターを確認してください。 ・センサー設定の確認をしてください。	9・17
衝撃がない状態で警報が出力される	・振動センサーは正しく設定されていますか？（Hiになっていませんか）	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサーユニットの取付け位置を確認してください。	14・22
	・駐停車時に電圧変化の発生する装備が車輌に取付けられてませんか？	・カーテシ配線を行ってください。	12
ドアロック・アンロックしない（配線時）	・ドアロック配線は正しく配線されていますか？	・車種別専用ハーネス適合表で取付け可能な車種か確認してください。	10
	・取付配線する車にオプションは必要ないですか？	・ドアロック配線する車種によっては、オプションBe-965が必要になる場合がありますので車種別専用ハーネス適合表で確認をしてください。	10

索引